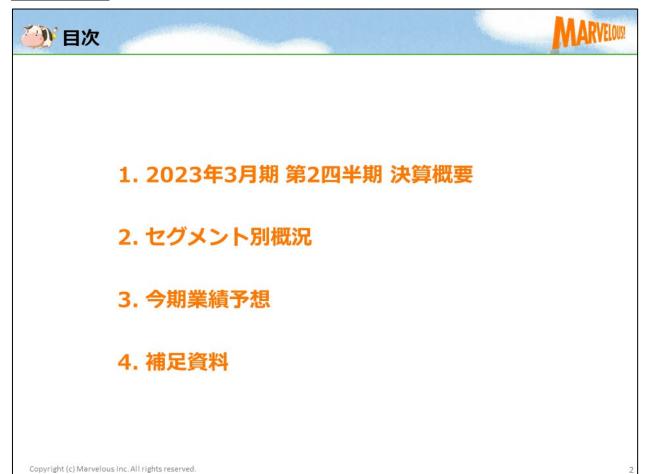


2023年3月期 第2四半期 決算説明動画 説明概要

本日はお忙しい中、株式会社マーベラス 2023 年3月期 第2四半期 決算説明動画をご視聴いただき、誠にありがとうございます。

代表取締役社長の佐藤でございます。

資料_P.2_目次



本日は、第2四半期の決算概要とセグメント別の概況、また、今期の業績予想につきましてご説明させていた だきます。



それでは、早速、第2四半期の決算概要からご説明いたします。

資料_P.4_業績ハイライト

ジン 2023年3月期 第2四半期(累計) 決算サマリー



売上高**115.4**億円(前年同期比:89.9%)営業利益**17.7**億円(前年同期比:61.2%)

- アミューズメント事業が好調継続で業績を牽引も、前期におけるゲームソフト販売好調の 反動で減収減益
- 円安による当社保有外貨預金への影響で営業外収益に為替差益6.7億円を計上

	2022年3月第	朝 2Q累計	2023年3月期 2Q累計		前年同期比	
単位:百万円	実績	利益率	実績	利益率	(額)	(率)
売上高	12,838	-	11,546	-	▲ 1,291	89.9%
営業利益	2,900	22.6%	1,774	15.4%	▲ 1,126	61.2%
経常利益	2,984	23.2%	2,427	21.0%	▲ 557	81.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,079	16.2%	1,655	14.3%	▲423	79.6%

こちらが、第2四半期までの決算サマリーとなります。

売上高は、前年同期比89.9%の115億4,600万円、営業利益は、同61.2%の17億7,400万円となりまし た。

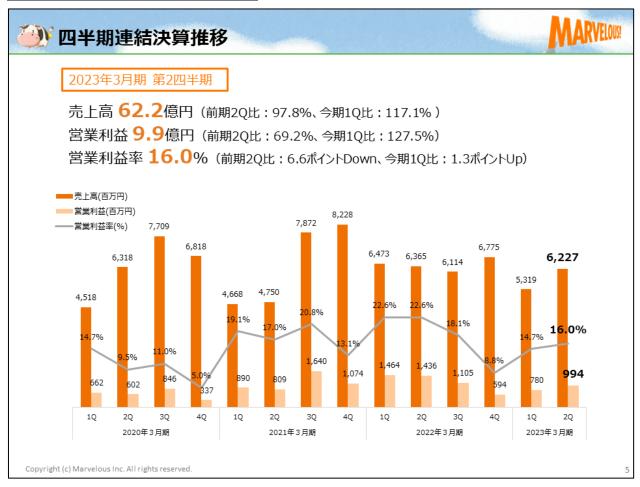
アミューズメント事業が引き続き好調に推移しており、業績を牽引いたしました。

しかしながら、前期は、新作ゲームソフト『ルーンファクトリー5』などの販売が好調であったため、その反動も あり、減収減益となりました。

経常利益につきましては、円安により、当社が保有する外貨預金への影響で、営業外収益に為替差益6億 7,000 万円を計上した結果、24 億 2,700 万円となりました。



資料_P.5_四半期連結決算推移グラフ



こちらは、四半期ごとの連結決算の推移をあらわしたグラフとなります。

前四半期との比較では、増収増益となりました。



続いて、セグメント別の概況についてご説明いたします。

資料_P.7_セグメント別業績_

単位:百万円		2022年3月期 2Q累計 (2021年4月-9月)	2023年3月期 2Q累計 (2022年4月-9月)	前年同期」 (額)	比 (率)
売上高	デジタルコンテンツ事業	8,122	6,038	▲2,084	74.3%
	アミューズメント事業	2,830	4,070	1,239	143.8%
	音楽映像事業	1,884	1,438	▲ 446	76.3%
	合計	12,838	11,546	▲ 1,291	89.9%
セグメント利益	デジタルコンテンツ事業	2,603	598	▲ 2,004	23.0%
	アミューズメント事業	941	1,609	668	171.0%
	音楽映像事業	57	364	307	635.9%
	合計	3,601	2,572	▲ 1,029	71.4%
全社費用等		▲ 700	▲ 798	▲ 97	113.9%
営業利益 合計		2,900	1,774	▲ 1,126	61.2%

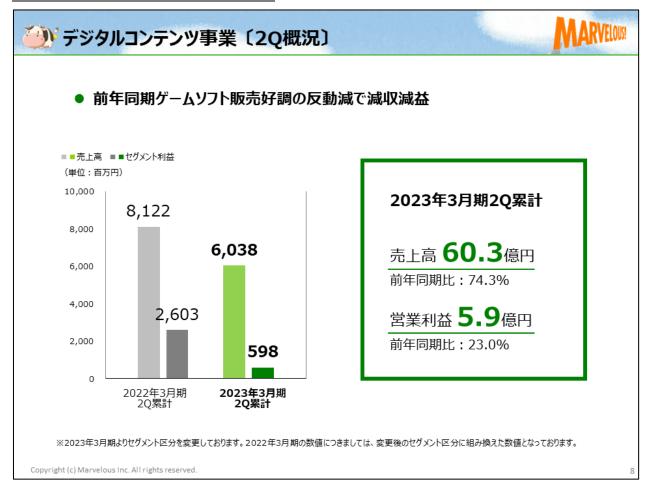
当第2四半期のデジタルコンテンツ事業は、売上高が前年同期比 74.3%の 60 億 3,800 万円、セグメント利益は同 23%の5億 9,800 万円となりました。

アミューズメント事業は、売上高が前年同期比 143.8%の 40 億 7,000 万円、セグメント利益は同 171%の 16 億 900 万円となりました。

音楽映像事業は、売上高が前年同期比 76.3%の 14 億 3,800 万円、セグメント利益は、635.9%の3億 6,400 万円という結果となりました。



資料_P.8_デジタルコンテンツ事業_概況



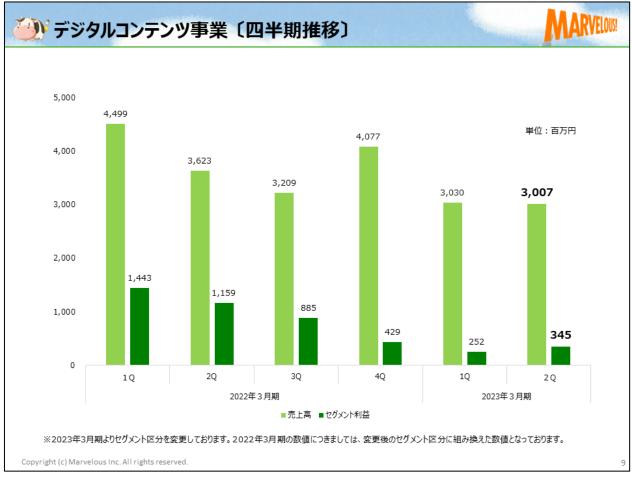
ここからは、各セグメント別にご説明させていただきます。

まずは、デジタルコンテンツ事業です。

前期においては、2021年5月にシリーズ最新作となる『ルーンファクトリー5』の発売があったほか、『牧場物語 オリーブタウンと希望の大地』のリピート販売が好調であったことによる反動減などで、前年同期比で減収減益となりました。



資料_P.9_デジタルコンテンツ事業_四半期推移グラフ



こちらのグラフは、デジタルコンテンツ事業の四半期ごとの業績推移です。



資料_P.10_デジタルコンテンツ事業_2Q タイトル



こちらは、第2四半期の主なタイトルの状況です。

Copyright (c) Marvelous Inc. All rights reserved.

コンシューマゲームでは、『ルーンファクトリー5』の Steam®版を7月 14 日に、『牧場物語 オリーブタウンと希望の大地』の PlayStation®4 版を7月 28 日に発売いたしました。

オンラインゲームにおきましては、子会社ジー・モードより、スマートフォンで鉄道模型や自分だけのレイアウトを作って楽しめるゲームアプリ『デジプラコレクション まるごと鉄道!』を8月 10 日に配信開始いたしましたが、こちらは、想定を下回る厳しい立ち上がりとなっており、今後は認知度の向上やコンテンツの見直しを図り、収益改善に取り組んでまいります。

オンラインの既存タイトルにおきましては、他社様 IP とのコラボイベントや周年の記念キャンペーンなどを実施いたしました。



資料_P.11_デジタルコンテンツ事業_今後の展開①



続いて、第2四半期以降のラインアップです。

コンシューマゲームでは、『No More Heroes 3』を PlayStation®、XBOX プラットフォーム、Steam®向けに国内外で 10 月より発売いたしました。

今後発売するタイトルといたしましては、2003年に発売した『牧場物語 ワンダフルライフ』のフルリメイク作品を2023年1月26日に、2009年に発売した『ルーンファクトリー3』のフルリメイク作品を2023年3月2日に発売を予定しております。

そのほか、完全新作のジュブナイル RPG『LOOP8(ループエイト)』は、2023 年3月の発売を予定しております。



資料_P.12_デジタルコンテンツ事業_今後の展開②



オンラインゲームでは、HONEY∞PARADE GAMES の完全新作となる、ジェットバトルゲーム『ドルフィンウェーブ』を 10 月 20 日にリリースいたしました。

おかげさまで、各ストアのセールスランキングで上位に入るなど、好調なスタートを切っており、今後の定番タイトルとなるよう、運営・育成に努めてまいります。



資料_P13_アミューズメント事業_概況



MARVELOUS

『ポケモンメザスタ』新弾が過去最高売上を更新するなど好調継続



2023年3月期2Q累計

売上高 **40.7**億円

前年同期比:143.8%

営業利益 16.0億円

前年同期比:171.0%

※2023年3月期よりセグメント区分を変更しております。2022年3月期の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組み換えた数値となっております。

Copyright (c) Marvelous Inc. All rights reserved.

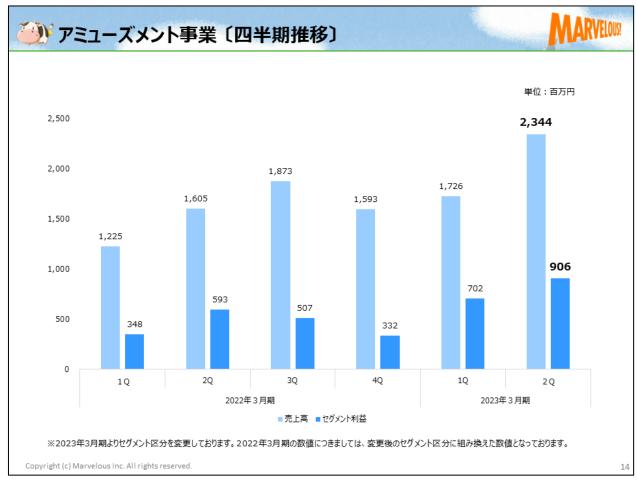
13

続いて、アミューズメント事業の説明をいたします。

主力のキッズアミューズメントマシン『ポケモンメザスタ』につきまして、7月7日より稼動を開始した新弾「ダブルチェイン1弾」が新弾としての過去最高の売上を更新するなど、引き続き好調に推移いたしました。



資料_P14_アミューズメント事業_四半期推移グラフ



こちらは、四半期ごとの業績推移となりますが、前四半期との比較でも増収増益となり、四半期の売上が 20 億円を突破いたしました。



資料_P15_アミューズメント事業_タイトル状況/今後の展開

Copyright (c) Marvelous Inc. All rights reserved.



タイトルの状況としましては、9月 15 日より、『ポケモンメザスタ』の新弾「ダブルチェイン 2 弾」が稼動中で、こちらも非常に好調に推移しております。

『ポケモンガオーレ』の海外展開につきましては、新型コロナウイルスの影響が続いていた一部地域の市場が改善し、稼動状況が回復いたしました。



資料_P16_音楽映像事業_概況

沙) 音楽映像事業〔2Q概況〕 前期2Qにおける大型公演売上計上の反動減で前年同期比減収 舞台公演事業でのコンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金等の計上や 収益改善傾向で前年同期比増益 ■ 売上高■ セグメント利益(単位:百万円) 2023年3月期2Q累計 2.500 1,884 2,000 売上高 14.3億円 1,438 1,500 前年同期比:76.3% 営業利益 3.6億円 1,000 前年同期比:635.9% 364 500 57 0 2022年3月期 2Q累計 2022年3月期 2Q累計 Copyright (c) Marvelous Inc. All rights reserved. 16

続いて、音楽映像事業の概況となります。

前期は、2021年1月から6月まで公演した「舞台『刀剣乱舞』」の売上計上があったため、その反動減などにより前年同期比で減収となりました。

利益につきましては、今期に入り、舞台公演関連の補助金の計上があったことや、コロナ禍からの若干の収益改善などで、前年同期比で増益となりました。



資料_P17_音楽映像事業_四半期推移グラフ



こちらが音楽映像事業の四半期毎の業績推移です。



資料_P18_音楽映像事業_1Qタイトル



第2四半期の主なタイトルの状況といたしましては、全3部作「特『刀剣乱舞-花丸-』~雪月華~」の第2幕「~月ノ巻~」が7月8日に、第3幕「~華ノ巻~」が9月1日に劇場公開となりました。

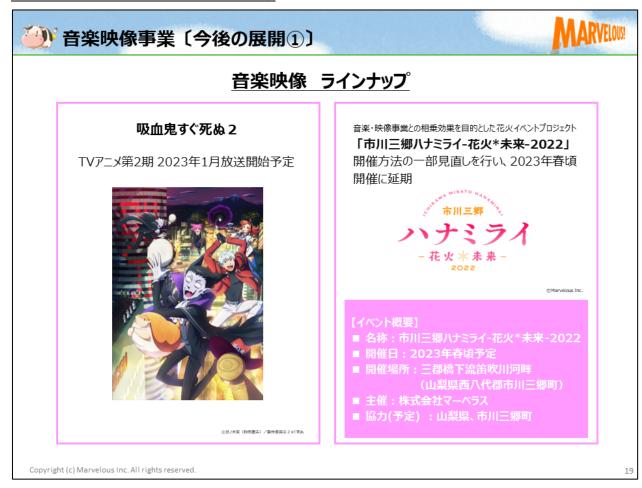
また、「プリキュア」シリーズの映画最新作が9月23日に劇場公開となり、公開10日間の興行収入が5億円を突破するなど、好調な動員を記録しております。

ステージ制作部門では、「舞台『弱虫ペダル』」、「ミュージカル『テニスの王子様』」、『ワールドトリガー the Stage』、「ミュージカル『青春-AOHARU-鉄道』」の新作公演を実施いたしました。

「ミュージカル『テニスの王子様』」と『ワールドトリガー the Stage』におきましては、公演関係者の新型コロナウイルスの感染に伴い、残念ながら、一部の公演が中止となりました。



資料_P19_音楽映像事業_今後の展開①



今後におきましては、2021年10月から12月に第1期が放送された、TVアニメ『吸血鬼すぐ死ぬ』の第2期が来年1月より放送開始予定となっております。

なお、10月に開催を予定しておりました、花火イベントプロジェクトの第1弾『市川三郷ハナミライ-花火*未来 -2022』につきましては、開催方法の一部見直しを行い、来春の開催へと延期させていただきました。 よりよい花火大会とするために、万全の準備をしてまいりますので、しばらくお待ちいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



資料_P20_音楽映像事業_今後の展開②



ステージ制作部門では、「ミュージカル『新テニスの王子様』Revolution Live 2022」を10月に開催したほか、「ミュージカル『薄桜鬼』HAKU-MYU LIVE 3」を10月から11月まで開催中です。

また、「歌劇『桜蘭高校ホスト部』」、「ミュージカル『憂国のモリアーティ』」、「舞台『刀剣乱舞』」といった人気タイトルの新作公演も予定しております。



資料_P21_音楽映像事業_今後の展開③



こちらは今期の新作タイトルになります。

「『ダイヤの A』 The MUSICAL」を9月から 10 月に公演いたしました。

また、「音楽劇『まほろばかなた』」を10月から11月の予定で公演中です。

このほか、「『東京カラーソニック!!』the Stage」や「舞台『鋼の錬金術師』」といった新しい作品の公演も決定しております。

以上が、各セグメントの概況となります。



最後に、今期の通期業績予想につきまして、お話させていただきます。

資料_P.23_2023 年3月期_業績予想



🦤 2023年3月期 通期業績予想



業績予想

前回発表時と同様にレンジ開示を継続いたしますが、業績予想達成のために、オンラインゲーム新作 『ドルフィンウェーブ』の運営・育成、4Q発売予定の新作ゲームソフトの拡販に注力いたします。

単位:百万円	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	前期比 (率)
売上高	25,728	25,000~ 28,800	97.2%~ 111.9%
営業利益	4,600	4,000~ 4,600	86.9%~ 100.0%
経常利益	5,054	4,200~ 4,800	83.1%~ 95.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,817	2,940~ 3,360	77.0%~ 88.0%

配当予想

2023年3月期の期末配当予想につきましても、今後、業績予想の特定値の開示が 可能となった段階で、あわせて開示させていただきます。

Copyright (c) Marvelous Inc. All rights reserved.

通期業績予想につきましては、前回発表時と同様のレンジ形式での予想のままとしております。

今期の業績を左右する新規タイトルですが、まずは、先日リリースいたしましたオンラインゲームの新作『ドル フィンウェーブ』の運営・育成に、最大限注力いたします。

また、第4四半期に発売を予定しております、ゲームソフト『牧場物語 Welcome!ワンダフルライフ』、『ルー ンファクトリー3スペシャル』、そして、完全新作「LOOP8(ループエイト)」の売り伸ばしにも努めてまいります。

配当予想につきましても、業績予想の特定値の開示が可能となった段階で、あわせて開示させていただく予 定です。

本年6月より新体制となりましたが、今後の投資計画といたしまして、複数事業が連携したプロジェクトの立ち 上げや、次世代に向けた既存 IP の新展開を推し進めて参りたいと考えております。 株主の皆様におかれましては、引き続き、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。



以上をもちまして、私からの決算説明を終了させていただきます。 ご視聴いただきまして、誠にありがとうございました。

以上